



か？「大変そうだな」などときっとみなさん  
は思ってくれたでしょう。  
これは、僕の立場を気づかっただけの温かい思  
いなのだと、頭では理解しています。けれど  
こう言われると僕は、悲しい気持ちになりま  
す。それは、「大変そうだな」と思われた時  
点で妹が、他の子たちと違って下に見られて  
いる気がするからです。これは僕の望む平等  
ではありません。  
僕の望む平等は、障がいがある人やその家  
族が「かわいそう」と思われているのではな  
く、障がいがある人もない人も特別視せず、  
手を取り合って生きていける世界であること  
です。  
僕にとって妹は、世間の人が思っているほ  
ど、「特別」な存在ではありません。一言で  
言えば「ふうに好き」な存在。家では基本  
妹と一緒にいます。家族の中で一番年が近い  
のが僕だと分かるらしく、母と僕が座ってい  
ても、僕のところへ来ます。そして僕に抱き

ついたり、話しかけたりしてきます。妹が話  
す言葉は、基本よくわかりません。意味はわ  
からないけれど、いつも僕に何かを伝えよう  
としてくれます。そして何より、妹はよく笑  
います。僕が変な動きをすると、それにつら  
れて笑います。言葉はわからなくても、その  
笑顔が僕を元気づけてくれます。そんな妹を  
見て、みんな支えられ幸せな気持ちになっ  
ていると思います。一緒に遊んでいる毎日が、  
妹とのかけがえのない思い出です。  
こ　　う　　い　　う　　毎　　日　　を　　知　　っ　　て　　い　　る　　人　　な　　ら　　ば　　、　　き　　っ  
と　　「　　か　　わ　　い　　そ　　う　　」　　「　　大　　丈　　夫　　？　　」　　と　　声　　を　　か　　け　　る  
こ　　と　　は　　な　　い　　と　　思　　い　　ま　　す　　。　　だ　　か　　ら　　僕　　は　　、　　障　　が　　い  
を　　も　　つ　　人　　と　　そ　　う　　で　　な　　い　　人　　の　　間　　を　　隔　　て　　て　　い　　る　　の  
は　　、　　こ　　の　　「　　本　　当　　の　　こ　　と　　を　　よ　　く　　知　　ら　　な　　い　　」　　と　　い  
う　　意　　識　　な　　の　　だ　　と　　思　　い　　ま　　す　　。　　身　　近　　で　　関　　わ　　り　　、　　よ  
く　　知　　る　　中　　で　　見　　え　　て　　く　　る　　世　　界　　が　　あ　　る　　と　　思　　い　　ま　　す  
し　　か　　し　　、　　実　　際　　は　　、　　生　　活　　の　　中　　で　　障　　が　　い　　を　　も　　つ  
人　　と　　関　　わ　　る　　機　　会　　が　　な　　い　　人　　も　　多　　く　　、　　そ　　れ　　ら　　の　　人  
が　　よ　　く　　知　　ら　　な　　か　　っ　　た　　と　　し　　て　　も　　、　　無　　理　　は　　な　　い　　で

しょう。けれど、それでは僕の望む世界は実  
現できません。障がいをもつ人のことをよく  
知るために、何ができるのでしょうか。  
ここで紹介したいのが、僕の参加している  
「あかりんぐ飛騨重度心身障がい児の会」の  
活動です。「あかりんぐ」という名前は、  
「安心・安全」「快適」「理解」の頭文字を  
とり、それに現在進行形で取り組んでいこう  
という願いから「ING」をつけて創られた言葉  
です。カメラマンさんが、「障がいがあつて  
もこんなことが出来る」ということを伝える  
ために、様々な活動の様子をカメラに収め、  
それを発信しています。「障がいがあつても  
楽しむことはできる」という願いに共感して  
僕もあかりんぐ活動に参加しています。夏の  
プール遊びや冬のクリスマス会。参加してみ  
て、あかりんぐのあたたかい雰囲気が好きに  
なりました。クリスマス会では、初めから最  
後まで参加者の方が楽しそうでした。プー  
ルと一緒に入ると、どんな小さな子ども全  
力で楽

しんでいました。それを見ている親さんも楽しそうでした。会に参加すること、幸せなことや楽しいことは、障がいがあってもなくても関係ないということを再認識しました。こう気づかせてくれたあかりんぐに、感謝しています。身近く関わり、よく知る中で見えてくる世界があったのです。たまたま僕には、家族に障がいをもつ妹がいたから、こういう場に参加することができたのかもしれない。もし妹がいなかったら参加していなかったのかもかもしれません。「本当の幸せの在り方」を感じられたあかりんぐの活動は、経験出来てよかったと思える、僕の人生の財産です。誰もが手を取り合う世界にするために、まずは、僕らのことについて少しでも知ってみてくださいますか。今、手元にあるスマートフォンで「あかりんぐ」と検索してみてください。